



モノニアラム而モ之ヲ看護セムトセハ自己ノ疾病ニ非サル  
ニモ拘ハラヌ疾病ト稱シ醫師ヲシテ虚偽ノ診断書  
ヲ作成セシムルカ如キ不合理ナル結果ヲ來スヲ以テ  
大正二年十月訓令甲第二十九號ノ規定第五條  
中「父母ノ下ヘ」及ヒ妻子ノ四字ヲ搜入セラレタシト謂フ  
ニアリ  
本件ノ規定ハ警視總監ノ制定シタルモノニシテ右請  
願ノ趣旨ハ本年六月警視廳訓令甲第四十號  
改正ニ依リ妻子ノ看護請願ノミナラス父母ノ年回  
忌墓參飯御ヲモ追加セラレタルストニ依リ請願ノ  
目的ヲ達シタルモノニ有之候條請願ハ此ノ儘差置カ  
レ可然哉

内閣案乙第七一九號

大正十年六月二十日

内閣書記官長高橋光威

内務次官小橋一太殿

別紙衆議院回付(參考トシテ)

巡查休暇關スル規定改正ノ請願

右貴省主管ノ件ニ付書類又轉送候

内務省

家乙七九

大正二年三月二十二日提出  
法律第三十六号

早川龍介

巡査体改正ニ関スル規定改正ノ件

巡査待遇規定改正ニ関スル請願

請願人

波多野三郎

外 四名

本願ノ目的大正二年十月刻令甲第二十九號  
ノ規定中第五條「父母」下へ「及ヒ妻子」ノ四  
字ヲ挿入スルコト

裏面白紙

紙書ニ施收用法上、手續ニ関スル未取對  
何等論及ニル所ナシト屆知事、辨明スル  
ニ依ルハ右手續ニ適法ナリト認メ得ラルノミ  
ラス索道建設許可処分トシ地收用法上、如  
ト別個、処分スルヲ以前者、取消申立ノ  
後者、手續ニ適法ヲ採用スヘキナル明ナ  
ルハ儘原案ニ同意ス(道路課)  
昭和八年七月七日

154-

本願ノ主旨及理由

現行ノ巡查規定ニヨレバ妻子如何ニ危重ナル疾病ニ際シテモ清暇看護スルコトヲ得ズ即チ巡查ハ其ノ家庭ヲ認メラシ居ラサルナリ同シク是レ皇國ノ臣民ニシテ殊ニ職ヲ國家ノ安寧秩序ニ奉スル警察官吏ノ家庭ヲ無視スルカ如キハ實ニ人情ニ外レ且ツ正義公道ニ悖ルカ故ニ如斯ク不備ナル規定ハ決シテ人ヲ遇スルノ道ニアラス

又若シ其妻子ノ危篤ニ瀕シ看護セントスルトキハ巡查ハ自己疾病ト稱シ醫証ヲ提出シ缺勤スルノ外策ナキハ故ニ非違ヲ正スノ警察官吏自ラ國法ヲ蔑視スルノミナラス醫師

ヲシテ國法ヲ犯サシムルニ至ル是レ不完全ナル規定ニ起因スル罪ナリ豈輕微ナル問題ナランヤ故ニ頭書ノ如ク巡查規定改正相成度謹テ奉請願候也

大正十年三月 日

請願人

東京市日本橋区小傳馬町二番八番地

波多野之郎

明治十年三月四日生

東京市日本橋区新大坂町三番地

西村英惣吉

明治二十一年三月廿二日生

東京市日本橋区長濱町一番地

高橋新次  
明治十二年五月十三日生

東京小石川区茗荷谷町一丁目  
依田光二  
慶應元年十二月廿五日生

東京府北豊島郡柴鴨町大字野込染井  
十番地  
三條 茂三郎  
安政元年七月三日生

# 衆議院議長奥政三郎殿

巡查疾病引籠、轉地療養、看護引籠歸省、

忌引及墓參旅行等關スル規定大正元年十月訓令甲第八號、大正三年訓令甲第九號及同十年六月訓令甲第四號

第五條 父母妻及子、重病之際、看護引籠又ハ歸省

有テ為サムトスルトキハ主治醫、診斷書及其歸省

ヲ要スルモノハ其、地所轄警察官署又ハ警察吏、證

明書ヲ添ヘ署長又ハ分署長ニ願出許可ヲ受クヘシ

但シ急迫ノ場合ニ於テ診斷書又ハ證明書ヲ添附ス

ルコト能ハサルトキハ事實ヲ説明スヘキ書類ヲ添附

スヘシ

前項但書ニ依リ許可ヲ得タル者ハ署長又ハ分署長  
ノ指定スル期間内ニ診斷書及證明書ヲ提出スベシ

第九條 父母ノ葬儀又ハ死亡ノ際及年忌墓參ノ  
爲旅行セムトスル者ハ署長分署長ノ許可ヲ受クヘシ

前項ノ外ニ等親ノ者葬儀ニ際シ本人ノ旅行ヲ必要トスル事情アリト認めルトキハ署長分署長ニ於テ特ニ許可スルコトヲ得

前二項ノ許可期間ハ往復日数ヲ除キ父母ノ場合ニ在リテハ七日間以内其ノ他ノ場合及墓參ハ五日間以内トス但シ往復日数ヲ合セ引又ハ遠慮引ノ日数ヲ過クンコトヲ得ス

(朱線ヲ施シタル部ハ追加セシモノナリ)

巡查看守休暇概則 明治十八年七月内務省達番外

第一條 巡查看守ハ常ニ定員ノ充足ヲ要スルヲ以テ  
 休暇ヲ許ササルヘキモナレトモ其ノ勤務上差支ナ  
 キニ於テハ皆勤ノ者ニ限り特ニ慰勞ノ爲メ休暇ヲ與  
 フルコトヲ得

第二條 休暇ノ日数ハ左ノ割合ニ從フ  
 休暇ノ日数

- 一箇年間皆勤ノ者 二週間
- 半箇年間皆勤ノ者 一週間
- 前項ノ外五箇年已上皆勤ノ者ハ一週間以内十箇年已上皆勤ノ者ハ三週間以内特ニ休暇ヲ與ハルコトヲ得

第三條 非番、父母祭日及職務上負傷者ノ缺勤ハ

缺勤日数ニ算入也ス

第四條 休暇日数ニ教年ニ通算シテ併與スルヲ得ス

和一普通合第一六二六號

大正十年十月三日

外務省臨時平和條約事務局長埴原正直

内務次官 小橋一太殿

婦人兒童賣買問題ニ関スル件

本件ニ関シ、在「セネガ」國際聯盟總會帝國全權ヨリ來電、次第ハ本月二十九日和一機密合第六一〇號ヲ以テ申進置候處今般更ニ別紙寫ノ通電報有之候ニ付右茲ニ及御送附候間御査閲相成度候也